

8月旧盆出荷向けの赤紫色コギク新品種「常陸サマールージュ」

〔要約〕

「常陸サマールージュ」は花色が鮮明な赤紫色で、切花長が長く、花蕾数が確保しやすい頂点咲きである。開花期は7月下旬から8月上旬で、電照栽培にも対応可能で8月旧盆向けの出荷が可能である。

農業総合センター 生物工学研究所・園芸研究所	H25年度	成 果 区 分	普 及
---------------------------	-------	------------	-----

1. 背景・ねらい

茨城県のコギクは、県内の切り花出荷品目では産出額が第1位、全国においても栽培面積が第2位、出荷量が第3位の地位にあり、重要な花き品目となっている。生産現場からは県による品種育成の要望が高い。そこで、市場から求められている頂点咲きの草姿で、本県の主要作型である物日出荷に対応できる県オリジナル品種を育成する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 平成16年に「のんこ」の自然交配種子の実生247個体から選抜した品種である(図1)。
- 2) 花色はRHSカラーチャートの72Aで、鮮明な赤紫色である。開花時期は7月下旬から8月上旬で、「やよい」並である。切花長は「やよい」よりも長く、切花重は軽い。節数は「やよい」より多く、分枝数、花蕾数および花径は「やよい」並である。フラワーフォーメーションは「やよい」並の頂点咲きである(図1、表1)。
- 3) 電照栽培により、10日程度の開花調節が可能である(表2)。
- 4) 現地試験の評価は、概ね極良～普通で、白さび病の発生が少ないこと、切花長、フラワーフォーメーションにおいて評価が高かった。全ての生産者から導入希望があった(表3)。
- 5) 市場性評価は、定番の色であり新規性に乏しい、ボリュームがやや不足する等の意見があったが、花数や茎葉の色が評価された(表4)。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 平成25年4月1日に品種登録を出願した(出願番号 第28072号)。
- 2) 育成時の系統番号は「ひたち13号」および「生研17号」である。
- 3) 県内全域で栽培できるが、表1の特性値は笠間市安居におけるものである。
- 4) 種苗は、(公社)園芸いばらき振興協会がH26年7月下旬～9月上旬に受注し、10月中旬～11月下旬に県内配布予定である。
- 5) 高温、乾燥年には下葉枯れが生じる場合があるため灌水できる圃場条件が望ましい。

4. 具体的データ

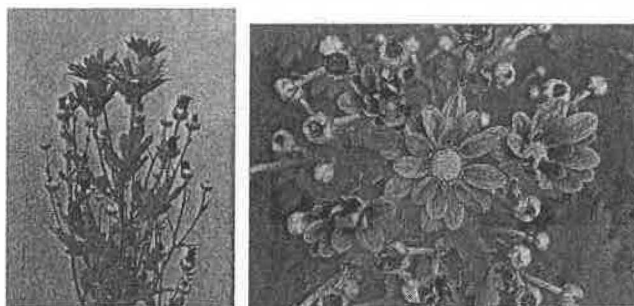


図1 コギク「常陸サマールージュ」

表1 コギク「常陸サマールージュ」の特性

(平成21年度、生物工学研究所)

品 種 系 統	花 色 (RHS) ¹⁾	開花日 始—終 (月/日)	切花長 (cm)	切花重 (g)	節数 (節)	分枝数 (本)	花蕾数 (輪)	花径 (cm)	FF ²⁾
常陸サマールージュ	赤紫(72A)	7/23—8/1	89.5	54.3	28.8	10.6	35.0	4.1	2.0
やよい	赤紫(71A)	7/24—8/5	77.9	74.5	24.0	11.6	35.8	4.4	2.0

1)RHS カラーチャートによる。2)フラワーフォーメーション (右図)

3)耕種概要：10×40cmの2条植えマルチ栽培、施肥量N 1kg・P₂O₅ 1kg・K₂O 1kg/a、定植日 4/24、摘心は定植1週間後、仕立て本数は1株3本



表2 「常陸サマールージュ」の電照栽培における生育特性の変化 (平成25年度、園芸研究所)

	開花日 (始—終)	切花長 (cm)	節数 (節)	FF ¹⁾
電照	8/3 (7/31—8/6)	118.1	46.8	1.6
無電照	7/25 (7/19—7/31)	106.5	39.7	1.5

1) フラワーフォーメーション (右図)

2)耕種概要：定植日 4/24、電照開始は定植直後、消灯は 6/14。



表3 現地試験におけるコギク「常陸サマールージュ」の生産者評価 (平成21、22年度、園芸研究所)

評価項目	極良	良	普通	劣	極劣
収量			●●●●		
作りやすさ*		●●	●●		
白さび病*	●	●	●●		
切花長	●	●●	●		
花色		●●●	●		
花質 (形・大小)		●●	●●		
茎葉色		●	●●●●		
ボリューム		●●	●	●	
FF ¹⁾	●	●●	●		
総合評価			●●●●		
導入希望	有	●●●●		無	

*生産者による達観評価

表4 コギク「常陸サマールージュ」の市場性評価 (平成21年度、園芸研究所)

評価項目	極良	良	普通	劣	極劣
花色		●	●●●●●●●●		●●
花径		●●	●●●●●●●●		●
花の形		●●	●●●●●●●●		●
花数		●●●	●●●●●●●●		●
茎葉の色		●●	●●●●●●●●		
ボリューム			●●●●●●●●		●●
FF ¹⁾		●	●●●●●●●●		●●
総合評価			●●●●●●●●●●		

1) フラワーフォーメーション

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

- 1) 本県コギク活性化のためのブランド品種の育成・平成14～平成19年度・生物工学研究所果樹・花き育種研究室
- 2) 需要拡大のためのコギク新品種の育成・平成20年～平成24年度・生物工学研究所果樹・花き育種研究室
- 3) 新品種育成普及促進事業・平成20～平成24年度・生物工学研究所果樹・花き育種研究室
- 4) 新品種育成普及促進事業・平成18年度～・園芸研究所・花き研究室